

科目名	スポーツ医学概論							年度	2025	
英語科目名	Introduction to Sport Medicine							学期	後期	
学科・学年	スポーツ健康学科 テニスコース 1年次	必／選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義	
担当教員	後藤	教員の実務経験		有	実務経験の職種		大学講師			
【科目の目的】										
スポーツを指導するに際して、スポーツ活動に伴う病気やけがについての医学的な基礎知識を学びます。スポーツと健康の関係性をはじめ、スポーツ活動中に多いケガや病気とその発生メカニズム、発生リスクおよび予防法を中心に学習します。また、障害発生時の救急処置などスポーツ指導者に必要なスポーツ医学の基礎についての概要を学びます。日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格取得に必要な共通科目です。										
【科目の概要】										
スポーツと健康、スポーツ活動中に多いケガや病気、アスリートの健康管理と内科的障害と対策、呼吸循環器系の働きとエネルギー供給、アンチドーピング、スポーツによる精神障害などについて学びます。										
【到達目標】										
A. スポーツと健康の関わりについて十分理解している。 B. スポーツ活動に多い病気（内科的疾患）およびケガ（外科的疾患）の概要とその発症機構やリスク、予防法について十分理解している。 C. スポーツ活動中に発生した病気（内科的疾患）やケガ（外科的疾患）に対する応急処置とリハビリテーションの概要について十分理解している。										
【授業の注意点】										
授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力		
到達目標 A	スポーツと健康の関わりについて十分理解している。			スポーツと健康の関わりについてある程度理解している。				スポーツと健康の関わりについて理解していない。		
到達目標 B	スポーツ活動に多い病気（内科的疾患）およびケガ（外科的疾患）の概要とその発症機構やリスク、予防法について十分理解している。			スポーツ活動に多い病気（内科的疾患）およびケガ（外科的疾患）の概要とその発症機構やリスク、予防法についてある程度理解している。				スポーツ活動に多い病気（内科的疾患）およびケガ（外科的疾患）の概要とその発症機構やリスク、予防法について理解していない。		
到達目標 C	スポーツ活動中に発生した病気（内科的疾患）やケガ（外科的疾患）に対する応急処置とリハビリテーションの概要について十分理解している。			スポーツ活動中に発生した病気（内科的疾患）やケガ（外科的疾患）に対する応急処置とリハビリテーションの概要についてある程度理解している。				スポーツ活動中に発生した病気（内科的疾患）やケガ（外科的疾患）に対する応急処置とリハビリテーションの概要について理解していない。		
【教科書】										
必要に応じて適宜資料を配布します										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		スポーツ医学概論				年度	2025
英語表記		Introduction to Sport Medicine				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	スポーツ医学概論	スポーツと健康	1	スポーツと健康について	スポーツと健康の関係について理解する	3	
2	加齢	スポーツと健康	1	スポーツと加齢について	スポーツと加齢について理解する	3	
3	健康	健康とは	1	健康の定義	健康の定義について理解する	3	
4	運動	身体活動の必要性	1	身体活動の必要性	身体活動の必要性についての理解する	3	
5	内科的疾患	スポーツと内科的疾患	1	スポーツと内科的疾患について	スポーツと内科的疾患（慢性疾患・急性期疾患）について理解する	3	
6	外科的疾患	スポーツと外科的疾患	1	スポーツと外科的疾患について	スポーツと外科的疾患（急性期）およびスポーツ障害について理解する	3	
7	救急対応	各種救急対応	1	救急蘇生法 心停止 ファーストエイド	救急蘇生法について理解する 心停止の対応とその予防について理解する ファーストエイドについて理解する	3	
8			1	救急体制 RICE処置 応急処置	緊急体制マニュアルについて理解する RICE処置について理解する 手当と応急処置について理解する	3	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							